

# ドクター+フジ

## 妻を追う男の夫婦愛

このたびは有名人の生き方、亡くなり方についての連載依頼をいただきました。「ニッポン臨終図巻」という題は、敬愛する東京医科大学の大先輩、山田風太郎の『人間臨終図巻』にあやかりま

### ① ムッシュかまやつ



誰からも親しまれる笑顔を絶やさなかつたムッシュかまやつさん

人情の町、兵庫・尼崎の町医者、長尾和宏と申します。58歳のオッサン真つ盛りですが、クリニックで外来を行うとともに日々、在宅医として夜中まで町を駆け回っています。今まで病院死、在宅死合わせて2000人ほどの臨終に立ち会い、現在は日本尊厳死協会の副理事も拝命しています。



新連載

## ニッポン ドクター和の 臨終図巻

長尾和宏（ながお・かずひろ）医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療を在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。近著「薬のやめどき」「痛くない死に方」はいずれもベストセラー。関西国際大学客員教授。

さて、記念すべき第1回は、どなたで書こうかと考えていた今、ラジオからムッシュかまやつさんの追悼番組が流れてきました。「ムッシュはちょっと危ない人ではない人、最高だった」とラジオの声。ちょっと危ない人ではない人。まるで己のことを言われている

るようで親近感がわきました。ザ・スパイダースは、私が物心ついたころには大スターでした。「太陽が泣いている」を聴くと少年時代が蘇ります。

かまやつさんは3月1日に膵臓（すいぞう）がんで亡くなりました。享年78。2016年5月に膵臓がんが発覚。8月には脱水症状を起し緊急入院。がんを公表したのは9月。その後は、いこの森山良子さん宅で静養しながら通院で治療をしていました。

公表時は膵臓がんでしたが、死因は膵臓がん。なぜ、と思う方もいるでしょう。おそらくはじめに膵臓にがんがあり、そこから肝臓に転移した「転移性肝臓がん」が見つかったために肝臓がんとして発表されたのでしょうか。

膵臓がんは発覚した時点で進行した状態であることが多く、手術対象にならないと化学療法が行われます。か

まやつさんの治療内容は公表されていないので、知ることができませんが、12月にはまさに「我が良き友、堺正章さんの古希祝いライブに登場、往年の名曲『サマー・ガール』をデュエットしたそうです。これが最後の公の場となりました。今年1月に体調が悪化し、東京都内の病院に約2カ月入院。最期はお気に入りのニット帽をかぶって、親族に囲まれながら穏やかに息を引き取ったそうです。

実は、かまやつさんが亡くなる数日前に奥様が亡くなっています。奥様も長い闘病をしていたとのこと。かまやつさんは妻の死を知らされることなく旅立ちました。

このように、妻の後を追うようにして亡くなる夫は少なくないのです。後追い死とは、いわば究極の夫婦愛でしょうか。しかし、夫が先に旅立った場合、妻が後を追うケースはあまり見ることがありません。むしろ元気になる場合も。

かまやつさんは、おしどり夫婦で有名だったそうですから、今ごろは天国で再会を喜んでいることでしょう。ご夫妻のご冥福を祈り申し上げます。ザ・スパイダースよ永遠に！

— 金曜日掲載